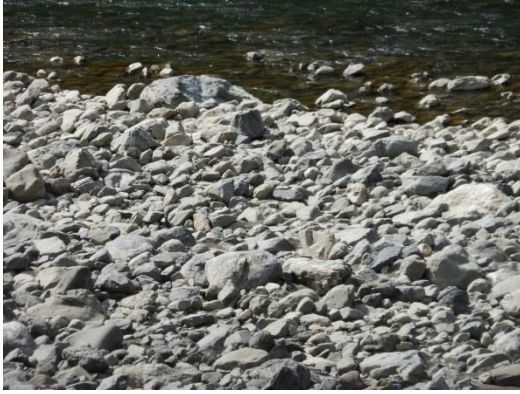


## 瀬戸石ダム問題学習会

# 荒瀬ダム撤去効果は続いているのか 豊かな球磨川を取り戻すために



大きな石・岩が目立つ瀬戸石ダム下流・中津道地区

小砂利が豊富な荒瀬ダム跡下流・大門地区

最近、荒瀬ダムの撤去効果が急速に失われていると言われています。鮎の繁殖に必要な直径3センチメートルほどの小石は、上流に行けば行くほど少なくなり、大きな石や岩が目立つようになります。

上流の瀬戸石ダム湖内では、毎年数万立方メートルの溜まった土砂が撤去されていますが、それは下流に戻されるわけではありません。ダム下流では、粗粒化（アーマー化）が進行し、溜まった泥に繁茂する草が目立って来ている。もはや、瀬戸石ダムの下流が、ダムのある川にのみ見られる特異な河床・河原に変化しつつあります。今回、このような現状を改めて認識し、河川や海の生態系回復には何が必要なのか、豊かな球磨川を取り戻すためにはどうしたらいいのかを学びます。是非、皆さん、ご参加ください。

**日時：2019年10月5日（土）19:00**

**会場：八代八一モニーホール3階大会議室A**

講師：つる詳子さん（自然観察指導員熊本県連絡会会長）

発言：溝口隼平さん（Reborn代表、リバーガイド）

川・海の漁師さん（交渉中）

資料代：500円

主催・問合せ：瀬戸石ダムを撤去する会 080-3999-9928 土森